

●右開き戸
紙の端を縦枠に当てる 【位置決め用物差し】 縦枠から100mmの位置

●左開き戸
縦枠から100mmの位置 【位置決め用物差し】 紙の端を縦枠に当てる

ドア音ケア<引き戸用> SC-100タイプ

<1/2 ページ>

取付け手順書 … <別紙の取説>も併せてお読みください。

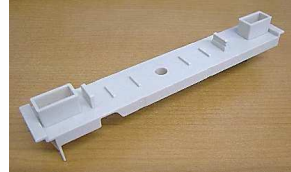
各部品について ●部品が全て揃っていることを確認してください。(写真の製品カラーは『オフホワイト』です。) ※作業の際、(+)ドライバーが必要です。



◆本体ユニット … 1個
<戸の表面に取付けます>



◆ストッパーユニット … 2個
<上枠の下面に取付けます>



◆取付け用工具 … 1個
<取付け作業時に使用します>



◆(+)ドライバー … ご準備ください。
<取付け作業時に使用します>



引き戸のタイプについて ●<右開き> か <左開き> かを事前に確認してください。

☞ <右開き戸> と <左開き戸> で部品の取付け位置が左右逆になります。



◆戸を<閉め切った状態> ◆戸を<開け切った状態>



◆設置完了後の写真 ※部品の取付け位置



◆戸を<閉め切った状態> ◆戸を<開け切った状態>



◆設置完了後の写真 ※部品の取付け位置

取付け手順

- 本品は、強力テープで固定します。 ※ネジ止めは不要です。
- 設置の前に：テープで確実に固定するため、予め貼付ける箇所の <汚れや油分等> を必ず除去してください。

【ご注意】高所での作業となります。安全には十分にご注意ください。

☞ ココがポイント：除去する箇所 <上枠(鴨居)の下面> <戸の表面：上枠の下50mmの範囲>

★<右開き戸> と <左開き戸> で部品の取付け位置が左右逆になります。その部分については、【左側】と【右側】に分けて記載し説明しています。

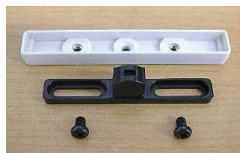
← <右開き戸> の場合は、【左側】の手順で作業を進めてください。

→ <左開き戸> の場合は、【右側】の手順で作業を進めてください。

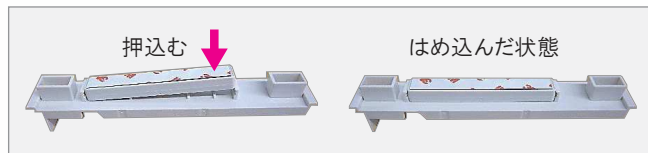
1 ストッパーユニットを一旦分解して、工具にセットする

- ① (+)ドライバーでネジを外して、分解する
- ② ベース(1個)のみを工具にはめ込む。

☞ ココがポイント：分解後の部品は、無ささないように箱等に入れて保管してください。



◆2個共に分解



◆斜めに置いてから、手で『パチン』と押込む



◆部品を箱等に保管

2 工具を使って、上枠下面にベースを<仮固定>する … 戸の<閉め切り側>

☞ ココが【重要】：必ず<戸を完全に閉め切った状態>で行うこと！



●右開き戸



●左開き戸

- ① 上枠に工具を位置決めするための目印を付ける ※本紙上記(欄外)の【位置決め用物差し】を使用します。



◆物差しを<縦枠と上枠>の2面に当てながら ⇒ 物差しの100mm位置に合わせて、上枠にテープ等で目印を付ける ⇒ 物差しを外す



◆物差しを<縦枠と上枠>の2面に当てながら ⇒ 物差しの100mm位置に合わせて、上枠にテープ等で目印を付ける ⇒ 物差しを外す



◆物差しを<縦枠と上枠>の2面に当てながら ⇒ 物差しの100mm位置に合わせて、上枠にテープ等で目印を付ける ⇒ 物差しを外す



◆物差しを<縦枠と上枠>の2面に当てながら ⇒ 物差しの100mm位置に合わせて、上枠にテープ等で目印を付ける ⇒ 物差しを外す

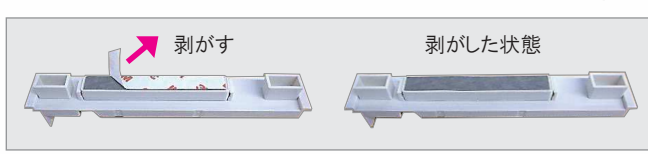
- ② 工具にセットしたベースの<テープの剥離紙>を剥がした後、建具側に【位置決め】する

☞ ココが【重要】：必ず<戸を完全に閉め切った状態>で行うこと！

★【位置決め】は、工具を上枠下面と戸表面の2面に当てながら、工具の端を<目印>に合わせる。 ☞ ココがポイント：工具の向きに注意！



③へ



③へ

- ③ 工具を位置決めしたまま、(+)ドライバーでベースを押込んで<仮固定>する。

☞ ココがポイント：<仮固定>後に工具を外さないこと！ … 後で外します。



◆工具の穴にドライバーを挿入 ⇒ そのままドライバーで少し押込めば、工具からベースが外れて上枠に<仮固定>されます。



ドライバー



ドライバー



ドライバー

→ 裏面<2/2ページ>へ続く

3 本体を工具で位置決めしく仮固定>する

①本体の<カバー>を一旦外す ⇒ 【外した後に確認】レバーが左右に開き切っていること！



ココがポイント: カバーを外す時のコツは<取説>を参照

②本体裏側の<テープの剥離紙>を剥がす

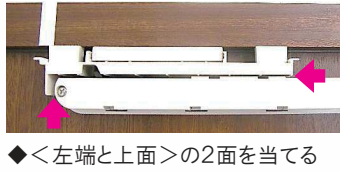


剥がした状態

※ 閉じている場合は、写真の位置までレバーを外向きに引張ってください。

ココが【重要】: 必ず<戸を完全に閉め切った状態>で行うこと！

③本体を工具に合わせて位置決めする



<左端と上面>の2面を当てる

④位置がズレないように手で支えながら、本体を軽く押付けて<仮固定>する



この辺りを押す

③本体を工具に合わせて位置決めする



<右端と上面>の2面を当てる

④位置がズレないように手で支えながら、本体を軽く押付けて<仮固定>する



この辺りを押す

⑤工具だけを外す



手前に向かって引抜く



工具だけを外した状態

⑤工具だけを外す



手前に向かって引出す



工具だけを外した状態

4 もう一方のベースを位置決めしく仮固定>する … 戸の<開け切り側>

ココが【重要】: 必ず<戸を完全に開けきった状態>で行うこと！

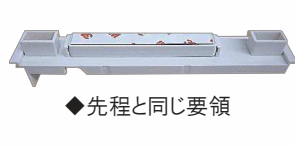


<閉め切り側>とは逆方向に開け切ってください。



<閉め切り側>とは逆方向に開け切ってください。

①外した工具にベースをセット



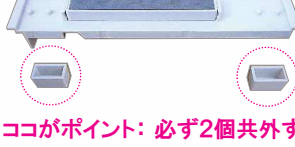
先程と同じ要領

②テープの剥離紙を剥がす



先程と同じ要領

③工具のスペーサーを外す



ココがポイント: 必ず2個共外すこと!

④工具の位置決め



工具を矢印部分(隙間)に差込みます。



④の続き



<本体端>に当てながら差込む ⇒ <本体端と戸表面>の2面に当てる



④の続き



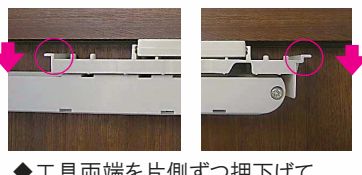
<本体端>に当てながら差込む ⇒ <本体端と戸表面>の2面に当てる

⑤ベースを上枠に<仮固定>する



位置決めしたまま、工具両端の○印部分に指を掛けて押上げる

⑥工具を外せる状態にする



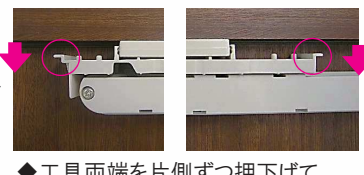
工具両端を片側ずつ押下げて、爪の引掛かりを外す

⑤ベースを上枠に<仮固定>する



位置決めしたまま、工具両端の○印部分に指を掛けて押上げる

⑥工具を外せる状態にする



工具両端を片側ずつ押下げて、爪の引掛かりを外す

⑦工具だけを外す … 外した後は、戸を動かしても問題ありません。



手前に向かって引出す



工具だけを外した状態

⑦工具だけを外す … 外した後は、戸を動かしても問題ありません。



手前に向かって引出す



工具だけを外した状態

5 ベース&本体 を<本固定>し、先に外した部品を取付ける

①<左右のベース&本体>を強く押付けて<本固定>する。



左右のベースは全体を均等に強く押す



本体はこの辺りを強く押す

ココがポイント: 10秒程度圧着すれば、しっかり固定できます。

②先に外した<ストッパー&ネジ>を<端寄せ>でベースに取付ける



左側は<右寄せ>

右側は<左寄せ>

③先に外した<前カバー>を本体にはめ込む



はめ込み前



はめ込み後

◆平行にしながら押込めば、『パチン』と音が鳴りはまります。

●右開き戸

●左開き戸



設置が完了した状態

6 以上で、設置完了です。

最後に【動作確認】【微調整】を行えば、ご使用いただけます。 … 詳しくは、取説を参照ください。

ドア音ケア <引き戸用> SC-100 タイプ

取扱い説明書 (1/2 ページ)

【お客様へ】

- <本取説> <別紙：取付け手順書> は、製品設置後もいつでもご覧になれるところに大切に保管ください。
- <付属品：取付け用工具> は、製品設置後に不要となりますが、必要に応じて保管ください。
(後日、製品を付け直す必要が生じたなどの際に再使用いただけます。)

⚠ 取扱い上のご注意

- 本品は、室内ドア用のソフトクローザーです。
※屋外には使用できません。劣化を早める原因となるため<浴室>には設置しないでください。
- 一般住宅の<戸車付き木製引き戸>に使用できます。…現在ご使用中の戸にもく後付け>することができます。
- 引っ掛りがあったりスムーズに開け閉めできない戸の場合、正常に動作しないことがあるのでご注意ください。
- 本品は、強力テープで取付けるタイプです。
※取付け面の素地によっては、上手くテープが着かないことがあります。
その場合は、ネジ止めを追加して設置してください。…詳細は、以下の【補足説明】の欄を参照ください。
- 戸1枚に対し、製品1セットを取付けてください。
- 本品を取付ける前よりも、戸を開けるのが多少重たくなります。
- 故意に戸を勢いよく開け閉めしないでください。故障の原因となります。

【補足説明】テープが上手く着かない貼付け面の素地

- ★素材：<布製・紙製の壁紙> <軟質塩ビ> <シリコン・フッ素樹脂を表面コートしたもの>
- ★状態：<塗装が剥がれやすい面> <湿気を多く含んだ面> <凹凸が激しい面> <曲面>

【補足説明】ネジ止めで設置する方法

- ★手順書通りテープ止めで製品の設置を完了させた後、更にネジ止めを追加して建具に固定してください。 ※ネジは別途ご用意ください。

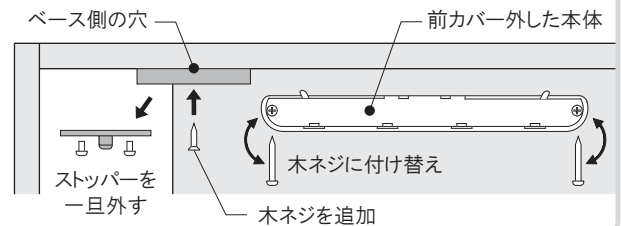
【STOPパーのネジ止め】木ネジ 皿頭 3.1×13 …計2本使用

- ★ネジを外してSTOPパーを外せば、ベース側の中央に<血穴>があります。その穴を使用して木ネジで建具(上枠)に固定する。

- ★左右のSTOPパー共に同じ要領です。

【本体のネジ止め】木ネジ 丸頭 3.1×30 …計2本使用

- ★前カバーを外せば、本体の左右2箇所にネジがあります。そのネジを取外し、木ネジに付け替えて建具(戸)に固定する。



取付けの前に

- 【重要】建具側の上枠の溝に<引き戸用ブレーキ>が付いている場合は、必ず取外してください。
※付けたままですと、本品が正常に動作しません。

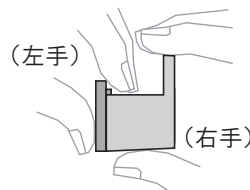
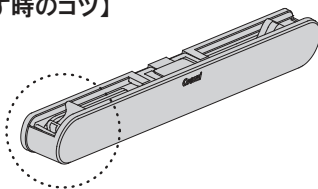
別紙【取付け手順書】について(補足説明)

- 別紙【取付け手順書(以下、手順書と記述)】をよくお読み頂き、正しく取付けてください。

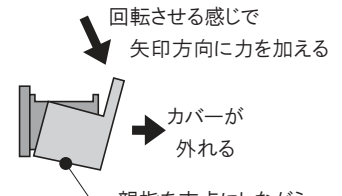
●手順書【3項】の補足

【本体の<カバー>を外す時のコツ】

- ◆出来るだけ製品の端部分を両手で持つ



- ◆指の掛け方



- ◆外し方

●手順書【4項】の補足

【開け切り側のソフトクローズ機能をご使用にならない場合】

- ★<開け切り側のベース(ストップパーユニット)取付け>は不要ですので、【4項】を飛ばして【5項】へ進んでください。

【各部品を取付け直ししたい場合】

- ★【4項】の<仮固定>の時点で部品を外して再度<仮固定>し直してください。
- ★<本体と上枠が一見して平行になっていない時>も、本体を一旦外してから【3項】の要領で<仮固定>し直してください。
- ★ゆっくり剥がせば比較的簡単に外れます。…部品を破損させないように慎重に外してください。
※【5項】の<本固定>後は、部品を外するのが困難になるのでご注意ください。
※外した際に両面テープがダメになった場合は、新しいものに貼り替えてください。

<推奨> 3M スコッチ 超強力両面テープ プレミアゴールド スーパー多用途 粗面用

取扱い説明書 (2/2 ページ)

●手順書【4項】の補足 (前ページのつづき)

【上枠と本体との隙間が小さすぎて、その隙間に工具が差込めない場合】

- ★<建具側(枠)の変形>が製品の許容範囲を超えていることが考えられます。
- ★<開け切り側>のストッパーユニットは取付けずに、<閉め切り側>のソフトクローズ機能だけでご使用ください。

●手順書【6項】の補足 …【動作確認】【微調整】について

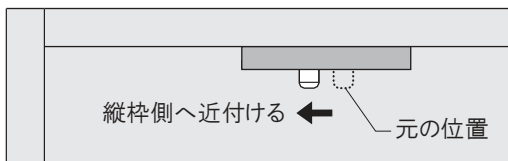
- ★テープ本来の接着力がでるまでに約1日かかります。動作確認の際は <必要以上に勢いよく戸を開閉> しないでください。

【動作確認】実際に戸を開閉して <正常に動作するか>を確認

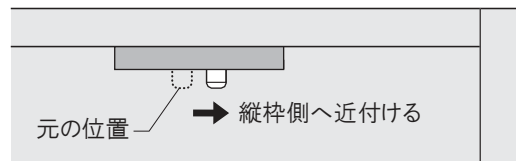
- ★<自動でゆっくり引込みながら> ⇒ <閉め切る><開け切る> のどちらもスムーズに動作するかを確認する。
※スムーズに動作しない場合は、<建具側の敷居の溝や戸車>にゴミ等が付着していないか確認してください。
※製品を取付ける前の戸自体がスムーズに開け閉めできない場合は、正常に動作しないことがあります。

【微調整】<戸を引込む力> が少し弱いと感じた時

- ★ストッパーユニットのストッパー位置を調整し、縦枠側に近付けることで<引込む力>を強めることができます。
- ★調整方法:<ネジを少し緩めてストッパー位置を調整> ⇒ <ネジを締め直す>
※但し、その分だけ戸を開ける時も重くなります。



【左側のストッパーユニット】



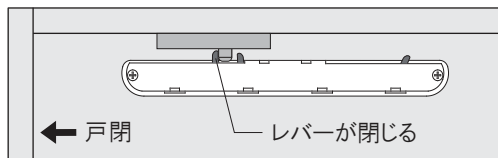
【右側のストッパーユニット】

■正常に動作しない時の対処法について

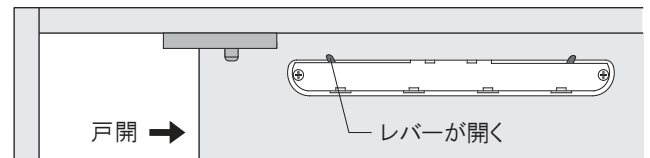
●戸閉時は正常に動作するが、戸開時に本体のレバーが正常に動作しない時

【現象】戸開時、本体のレバーが一旦開いた状態になるが、閉じた状態に戻ってしまう。
(その状態で戸を閉めると、レバーがストッパーに当たって戸が閉まり切らない。)

【原因】ストッパーのレバーへの掛りが浅いことが考えられます。

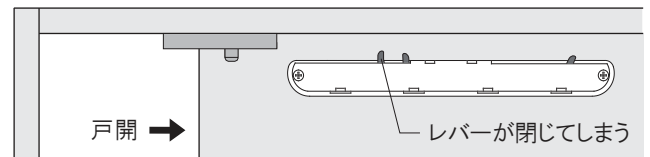


【戸閉時】正常に動作した状態



【戸開時】正常に動作した状態

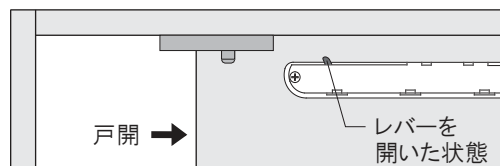
※レバーの状態をわかりやすくするために
便宜上、本体カバーを外した状態の
図にしています。
(実際には、外す必要ありません。)



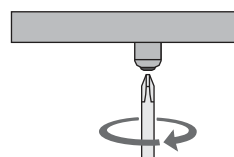
【戸開時】レバーが正常に動作しない状態

【対処法】ストッパー先端の調整ネジを回すだけで、ストッパーの掛りを深くすることができます。

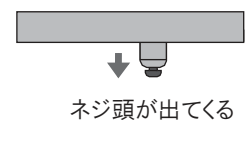
- ★戸を開けた状態にしてから、調整ネジを回してネジ頭の突出加減を微調整していきます。
- ★ネジは一気に回さず、<1回転させる ⇒ レバーへの掛かり具合を確認> を必要に応じ繰り返してください。
- ★掛かり具合を確認する際は、その都度<レバーを開いた状態>にしてから行ってください。



★本体がストッパーを越える位置まで戸を開ける



★調整ネジを矢印の方向に1回転させる



ネジ頭が出てくる

■お手入れの際は

- シンナーなどの有機溶剤等で清掃しないでください。…劣化や破損の原因となります。
- 軽い汚れ… 柔らかい布に水を少量付けて軽く拭取る。
- その他汚れ… 柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少量付けて拭取り後、洗剤の残りをきれいに拭取る。